



～お葬儀屋さんのひとりごと～

お布施って何？

よく聞く話に「お布施ってなんであんなに高いの？」という質問があります。これに答えるには現在の日本の仏教寺院のシステムまで踏み込む必要があります。これから話す仏教シリーズのはじめの一つとして、お布施の話をしようと思います。
でもかなりざっくりばらんですので、その点をご容赦ください・・・

■ その1

お布施がもし〇〇料だとしたら、般若心教はいくら、正信偈はいくら、受戒はいくら、引導はいくらという話になってしまいます。お金のある人にはお経をあげる事は出来るけど、無い人には何もしてやらない、そんな事を肯定するお坊さんなんている訳ないですよね？



だから、お布施に相場は無いんです。

お布施は難しい事はぬきにして「人に持っているものを気持ち良く与える事」をそもそもお布施と言います。だから、お金でも食べ物でも笑顔でも言葉でも行いでも、全部本来はお布施と言います。この事を否定するお坊さんはいないと思います。

皆さんが生活する上で、お給料が100万円の人がいれば15万円の人にもいると思います。そんな中で例えばお布施が20万と言われた時にその比重はぜんぜん違います。だから本来は出せる分だけ、また出そうと思う分だけ出せばいいものなのです。

■ その2

でもね、その自分が出せる分が多いのか少ないのか、不安になって「相場はいくら？」って皆さん聞きたくなるでしょう？聞きたくなりますよねえ。お坊さんとは〇〇回忌までながーい、ながーい付き合いになるでしょう。そこでやっぱりお布施が多い少ないであんまり双方嫌な思いをしたくないのがお付き合いの基礎知識みたいなところあるじゃないですか。

だから、お坊さんに聞いちゃうのが一番分かりやすい方法だと思いますよ。 今は教えてくれるお坊さんも増えてますしね。

■ その3

それから、皆さんに気を付けてもらいたいのはよく葬儀の本にある相場表、あれぜんぜんあてにならないですからね。宗旨宗派で金額に差があるというよりも地域の風習や住職さんの考え方の違いのほうが大きいのです。だから相場なんて通用しないのです。

■ その4

それで相場が無いお寺さんも、その1で書いた理由のように存在します。「お気持ちで」っていつてくれる人の良さそうなお坊さんはだいたいそうです。そうすると払う方も困ります。とってもいいお坊さんなので包むものは包んであげたいけど、幾ら包んでもいいやらさっぱり検討も付かない。そういう時は、一緒に考えましょう。